

令和2年度 第二回横浜市勤労者福祉共済運営審議会会議録

《日 時》 令和3年3月23日(火) 14時00分～15時00分

《開催場所》 横浜市役所18階 会議室

《出席者》 石原委員、平野委員、石田委員、柴橋委員、花本委員、磯上委員、窪田委員、齋藤委員、鈴木委員、中山委員

《欠席者》 沢田委員、中村委員

《開催形態》 公開(傍聴者0人)

《議 題》 (1) 役員等の選出

ア 会長及び副会長の選出

イ 会議録確認者の選出

(2) 令和3年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について

(3) その他

《決定事項》 (1) 会長に柴橋委員、副会長に石田委員が選出された。

(2) 会議録確認は、花本委員が行う。

(3) 令和3年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について、議案どおり了承された。

(4) 横浜市勤労者福祉共済基金の運用状況について、報告を受けた。

《議 事》

【開 会】

(事務局) 定刻になりましたので、ただ今から、令和2年度第2回「横浜市勤労者福祉共済運営審議会」を開催いたします。

【市民経済労働部長挨拶】

【出席委員数報告】

(事務局) 次に、本日御出席いただいております委員数を報告いたします。現時点で、12名の委員のうち、10名の委員に御出席いただいております。したがって、横浜市勤労者福祉共済条例第16条第2項に規定されている半数以上の定足数を満たしており、本審議会が有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

また、本会議の傍聴者はございません。

併せて、前回「令和2年度第1回横浜市勤労者福祉共済運営審議会」の会議録について、石田委員に御確認いただいておりますことを御報告申し上げます。

【議 事】

(事務局) それでは、これより議事に入らせていただきますが、先ほど申し上げたとおり、本日は第 25 期の審議会の初めての会合でございますので、「議事（１）役員等の選出」のうち、「ア 会長及び副会長の選出」については、事務局のほうで進めさせていただきます。後ほど、進行は新会長にお願いしたいと思っております。

それでは、議事（１）アの「会長及び副会長の選出」を行わせていただきます。

本審議会の会長、副会長につきましては、横浜市勤労者福祉共済条例第 15 条に規定されており、「会長は、審議会を代表し、会務を総理する。（第 3 項）」、「副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。（第 4 項）」となっております。また選出にあたりましては、「委員の互選によって定める。（第 2 項）」とあります。では、皆さま、会長、副会長の選出につきまして、いかがでしょうか。

(委員) 前期に引き続き、柴橋委員を会長に、石田委員を副会長という案はいかがでしょうか。

(事務局) それでは前期に引き続き、会長は柴橋委員に、副会長は石田委員に、それぞれお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(事務局) それでは、第 26 期の会長は、柴橋委員に、副会長は、石田委員にお願いしたいと存じます。

それでは、ここでお二人から一言ずつ御挨拶をお願いいたします。

【会長挨拶】

【副会長挨拶】

(事務局) ありがとうございます。それでは、ここから後の議事の進行は、柴橋会長にお願いいたします。柴橋会長、よろしく願いいたします。

(会長) それでは、ここからは私が議事を進めさせていただきます。

まず議事(1)イ、本日の審議会の「会議録確認者の選出」です。会議録の確認につきましては、「審議会運営要領第 6 条第 2 項」により、審議会があらかじめ確認者を指名して、確認を得ることができるものと規定されております。事務局から、これまで順次確認をお願いしていた旨、伺っておりますので、私から本日の審議会の会議録確認者の提案をさせていただいてよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(会長) それでは、会議録確認者には、花本委員を指名いたしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし

(会長) それでは、よろしくお願いたします。続きまして、議事(2)の「令和3年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)」について、事務局から説明願います。

(配付資料に基づき、令和3年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について事務局から説明)

(会長) それでは、ただ今の議事(1)「令和2年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について」、御意見、御質問などがございましたら願いたします。

今年度はコロナ禍における事業運営となり、事務局の方々も手探りの状況かと思ます。会員様の意見を反映させる貴重な機会でございますので、委員の皆様、ハマふれんど事業への日頃の御感想や御提案などございましたら宜しくお願いたします。

(会長) 御意見、御質問がないようでしたら、議事(1)「令和2年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について」、御確認をいただいたということによろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(会長) それでは、議事(3)その他について、事務局から何かありますでしょうか

(事務局) 一点、横浜市勤労者福祉共済基金について御報告させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

(配付資料に基づき、横浜市勤労者福祉共済基金の運用状況について事務局から説明)

(会長) それでは、ただ今、御報告いただきました「横浜市勤労者福祉共済基金の運用状況について」、御意見、御質問などがございましたら願いたします。

(会長) 特に御意見、御質問がないようでしたら、「横浜市勤労者福祉共済基金の運用状況に

ついて」御確認をいただいたということでもよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(会長) 本日は新市庁舎での初開催となりますし、折角の機会ですので委員の皆様から何か御発言等いただけると宜しいかと思いますが、いかがでしょうか。

(委員) 福祉事業についてですが、コロナ禍において利用者数に変化はありますでしょうか。また、TVなどではコロナ禍は2023年頃まで続くのではないかとと言われておりましたが、コロナ禍に沿った内容での展開などはありますでしょうか。

(事務局) 福祉事業につきましては、刻々と変化する状況(感染拡大状況)に合わせて、サービス内容を変更するなど対応しております。その結果、会員の皆様が利用されるサービスのカテゴリーに変化は見られますが、(令和2年度4~12月末までの)利用者数につきましては大きな落ち込みはございません。

(会長) サービス内容を変更されているという事ですが、会報誌の差替えなども行っているのでしょうか。

(事務局) はい、会報誌において御紹介するサービス内容や企画などを変更しておりますので、誌面につきましても何度も差し替えるなどしております。また、誌面の差し替えが間に合わなかった場合には、希望する方にはキャンセル及び返金を行うような対応をとっております。

コロナ禍でも御利用いただけるような内容のサービスの掲載に努めております。事務局としましても手探りの状態ですので、こういったサービスが欲しいといったような御提案などいただけますと大変助かります。

(委員) 商工会議所でも既存の事業を転換してオンライン化したりしておりますが、やはり交流会など、人と人が直接で会って話すイベントへのニーズは強くあります。事業計画案を拝見しますと、コロナ禍でも上手く会員様のニーズに応えていけるような計画で、ありがたく思っております。

(委員) この一年間コロナで大変な中、事務局の方々には色々とお苦勞あったかと思えます。ありがとうございます。さて、オンラインセミナーを企画されていらっしゃるのですが、セミナーというとやはりお勉強というイメージになってしまうように思います。お勉強ではなくエンターテインメントに振った形で、著名人のオンライン会談の閲覧ですとかそういった機会もあればよいかと思えます。

また、(会社でハマふれんどに係る) 事務を担当している身としてですが、以前の審議会で会

員加入手続きの申請用紙の利便性向上について意見申し上げたところ、すぐに素晴らしいシステムを作ってください、この場で申し上げた意見について、すぐに御対応下さることに感動しております。ありがとうございます。

(会長) 貴重な御意見ありがとうございます。では、ハマふれんど会員限定オンラインイベント、オンライン会談など、実現できる企画がありましたら是非お願いいたします。

(委員) コロナ禍での横浜市の御努力に感謝いたします。オンラインもよろしいかと思いますが、(コロナ禍の前ですが) 私は横浜市スタジアムで野球観戦を楽しんだりしてましたので、スポーツ関連のイベントや従来のイベントについても状況を見つつ、企画していただき、明るい話題を提供していただけると嬉しく思います。

(事務局) 横浜 DeNA ベイスターズのチケットなど現在も取り扱ってはいるのですが、内容が試合直前まで確定しないため、誌面には掲載できない状況です。次号の会報誌で御案内いたしますが、ハマふれんどホームページ上にて割引販売しておりますので宜しければ御確認ください。

(委員) コロナ禍での色々な御対応、本当にありがとうございます。オンラインも主になりつつありますが、感染対策を十分に行った上でのミュージカルやコンサートなど直に観賞できる機会を御提供いただきたいと思っています。また、私も事務方ですので、給付申請についての新しいシステムがとても便利で感謝しております。

(委員) 50周年企画のイベント等で今年度できなかったものがあるならば、来年度に振り替えて実施するのも良いと思います。また、大型飲食店の商品券を割引販売していただけていますが、折角なので横浜市の商店街で使えるような商品券の割引販売なども可能であれば企画していただけると宜しかと思います。

(委員) 色々御対応いただき、本当にありがとうございます。目新しい意見は思い付きませんが、私もオンラインセミナーを利用したり、いつも会報誌を楽しみにしております。これからもよろしくお願いいたします。

(委員) 令和2年度は(会報誌誌面を) どんどん差し替えていってくださっていて、その内容が凄く良くて感謝しております。思い付きではありますが、コロナ禍であっても会食はニーズがあると思っています。飲食店予約サイトなど見ていますと、「クーポン利用で飲み放題が2時間から3時間になります」といったようなものを見かけます。コロナに全く配慮していないと感じます。市内の商店に御協力いただけるのであれば、短時間・少人数であれば使える割引などがあれば利用される方もいるのではないかと思います。

(副会長) 私どもの会社は直接コロナの患者様と接するわけではございませんが、医療従事者としての仕事をさせていただいておりますので、このコロナに対する規制というのは非常に厳しいものでございまして、こんなにたくさんの方と言葉を交わさせていただく場というのは数か月ぶりです。緊急事態宣言が解除されてもその状況は変わりません。こういった状態ですと、人と人が直接会ってお話するアナログ的なものがとても貴重に感じます。そんな中、医療従事者に対して何かできることはないかと思えます。具体的には思い付きませんが、今後サービス内容を検討していく中で医療従事者の方についても意識していただきたいと思えます。

(会長) 委員の皆様、非常に参考となる御意見、ありがとうございました。本日いただいた御意見について、少しでも取り入れることができるものがあれば、取り入れていただければ幸いです。他に御意見、御質問がないようでしたら、議事は全て終了とし、事務局に進行をお戻しいたします。

(事務局) 本日は、貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。なお、次回の審議会につきましては、「令和2年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績」等を議題として、6月下旬に開催を予定しております。よろしく願いいたします。以上でございます。

≪ 資 料 ≫ 議事(2) 令和3年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について
その他 横浜市勤労者福祉共済基金の運用状況について